

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:男鹿市農業再生協議会)(秋田県)

取組の概要

対象品目 : 水稻(産地面積 120ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人いりあいファーム滝の頭(農業者13名)
 成果目標 : 生産コストの10%以上の削減
 基準(H27年度) 103千円/10a
 目標(H30年度) 92千円/10a
 導入施設等 : 整備事業
 乾燥調製施設 517m²
 (処理量: 548 t(乾籾))

秋田県
男鹿市
五里合地区



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

H27年に、基盤整備事業に伴い農事組合法人 いりあいファーム滝の頭が設立され、同法人に農地が集積された。

法人経営の安定化のために、基盤整備地区の中心地にミニライスセンターを整備し、生産コスト削減を図るとともに、水稻作業の効率化により複合作物の生産拡大を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①基盤整備事業によるほ場の大区画化
- ②法人への農地集積による作業の効率化
- ③基盤整備地区の中心地にミニライスセンターを整備し、水稻部門作業の効率化

産地体制

地域の関係者(男鹿市、JA秋田みなみ(現:JA秋田なまはげ)、秋田県秋田地域振興局)がプロジェクトチームを組織し、事業を推進

構成	役割
取組主体	施設整備による大規模複合経営
JA秋田みなみ(現:JA秋田なまはげ)	営農指導、研修会の開催、販路拡大、単収・品質向上、出荷規格のチェック
男鹿市	各種事業の手続き
県地域振興局	事業推進、関係機関との調整

地域における独自の取組

〈主な取組〉

園芸作物(ねぎ)の拠点整備に伴う機械・施設の導入支援

〈県単独事業〉

県単独事業「未来にアタック! 農業夢プラン応援事業」・「ネットワーク型園芸拠点整備事業」による機械・施設の導入支援

取組成果

【事業実施による直接効果】

ライスセンター(共同利用施設)建設による低コスト、省力化

【事業実施による間接効果】

水稻作業の効率化による、ねぎの生産拡大、地元雇用の確保



**生産コストが
15%減少
(達成率147%)**

